



健康の社会的 決定要因

先日、日本循環器学会で、健康の社会的決定要因について取り上げていました。

この考え方は何かというと、健康は遺伝子や生活習慣など生物学的要因

だけで決まるわけではなく、経済的事情のために、薬剤を飲むことを自己判断は、そこで自分が受け入れられるかどうか、経済面を改善できる方法がないかを考えなければなりません。また、孤立している方の場合は、診療を介して、人と人とのつながりを確保している面もあります。

脈の狭くなった部分に入合はどうかと考えてみる面もありません。また、孤立している方の場合は、診療を介して、人と人とのつながりを確保している面もありません。



松原 清二 医師

在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポーター

問診料は、入院よりは抑えられているものの、通常外来より掛かります。その部分は各人の医療保険の自己負担額で決まります。

[まつばらホームクリニック]
☎ 042-439-1250
西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
■電話対応: 午前9:00~午後6:00
■定休日: 土日(祝日は診療)
■訪問地域: 西東京市、東久留米、新座、練馬の一部
まつばらホームクリニック 検索